

梅雨期の安全対策

万全ですか？

今年も、本格的な梅雨期を迎えようとしています。この時期は、**長雨**や集中豪雨により、最も災害が発生しやすい季節です。

自然災害から身を守るためには、「危険な場所には近づかないこと」「早めに避難すること」が基本です。気象情報等には十分に注意し、**早め**に行動するように心がけましょう。

防災は

日ごろの備えから

災害は、いつ襲ってくるか分かりません。被害に遭わないため、また被害を最小限度に食い止めるためにも、常日ごろから家族で災害から身を守る方法を話し合っておきましょう。

- ①家の周りをチェックし、危険箇所を確認しましょう。
- ②側溝に泥やゴミが詰まっていないか確認しましょう。
- ③日ごろから天気予報で気象の変化に関心を持ちましょう。
- ④浸水に備えて家財道具は高い場所に置きましょう。
- ⑤避難場所、避難経路を確認しておきましょう。

※避難場所は、合併時に配布した「まつうら市民ガイドブック」79ページ82ページに掲載。

土砂災害から

身を守りましょう！

土砂災害の多くはがけ崩れです。1時間に20ミリの雨が降った時や、100ミリ以上の雨が降り続いた時は、雨が上がった後も、警戒を怠らないようにしましょう。

土砂災害が発生する時は、次のような前ぶれ現象が見られることがあります。これらの前ぶれ現象を見つけたら、安全な場所に避難し、市役所や消防署に連絡しましょう。

- ①山くずれ・がけ崩れ
がけからの水が濁る・がけに亀裂が入ったり、小石が落ちてくる・がけから音がする
- ②土石流
山鳴りがする・雨が降り続けているのに、川の水位が下がる・川が濁ったり、流水が流れてくる
- ③地すべり
地面にひび割れができる・井戸や沢の水が濁る・がけや斜面から水が吹き出す

避難するときの注意点

- ① テレビ・ラジオや防災行政無線から伝えられる防災情報を注意深く聞きましょう。
 - ② 周囲の状況からみて危険と判断した場合には、避難勧告や指示がなくても、自主的に避難して災害から身を守りましょう。
 - ③ お年寄りや子ども、病気や体が不自由な人がいる家庭は、早めに避難しましょう。
 - ④ 避難するときは、次のものを準備しておきましょう。
- ◆ **貴重品**
現金、預金通帳、印鑑など
 - ◆ **応急医療品・常備薬**
消毒液、鎮痛剤、体温計、ばんそうこう、包帯など
 - ◆ **衛生用品**
歯ブラシ、せっけん、タオルなど
 - ◆ **衣類**
上着、下着、靴下、軍手など
 - ◆ **非常食・飲料水**
缶詰、ミネラルウォーターなど
 - ◆ **生活用品**
ライター、ろうそく、ビニール袋、筆記用具など
 - ◆ **その他**
ヘルメット、防災ずきん、携帯ラジオ、懐中電灯など

県河川砂防情報システムで 災害への備えを

県は「長崎県河川砂防情報システム」で、県内各地の雨量や主な河川の水位、土砂災害警戒情報などをリアルタイムに提供しています。パソコンや携帯電話で簡単に見ることができるので、水害や土砂災害に対する警戒や水防活動、避難活動にぜひご活用ください。



ホームページアドレス



パソコンから

<http://www.kasen-sabo.pref.nagasaki.jp/>



携帯電話から

○ドコモ

<http://www.kasen-sabo.pref.nagasaki.jp/i/>

○ソフトバンク (旧ボーダフォン)

<http://www.kasen-sabo.pref.nagasaki.jp/v/>

○au

<http://www.kasen-sabo.pref.nagasaki.jp/ez/>

松浦市地域防災計画、 松浦市国民保護計画を

策定しました

【松浦市地域防災計画】

市町村合併に伴い、新たに地域防災計画を策定しました。風水害、原子力災害等から市民の生命・財産を保護するとともに、計画的な防災行政の整備および推進を図ることを目的として策定したものです。

【松浦市国民保護計画】

外国からの武力攻撃や大規模なテロ等の際に、住民の生命、身体および財産を保護し、被害を最小限に抑えるため、国、県、市が相互に連携協力し、住民の避難や救済措置を行うことを目的に策定したものです。 ※計画書は、市役所総務課・各支所にあり、各市政嘱託員にも送付しています。災害時の避難場所等を確認することができます。



緊急時の連絡先

- 松浦市役所 0956-1111
- 松浦地区消防組合消防本部 0956-1211
- 伊万里市消防本部 (福島分署) 0956-7247-5110
- 松浦警察署 0955-2119

○問合せ先 総務課消防交通係